



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 コムシスホールディングス株式会社

コード番号 1721 URL <https://www.comsys-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加賀谷 卓

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 尾崎 秀彦 TEL 03-3448-7000

四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 2020年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	234,262	△3.6	12,402	△4.3	12,934	△5.1	8,934	0.9
2020年3月期第2四半期	243,024	36.6	12,959	18.1	13,631	21.4	8,855	24.2

（注）包括利益 2021年3月期第2四半期 10,621百万円（24.3％） 2020年3月期第2四半期 8,542百万円（8.5％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	70.59	70.44
2020年3月期第2四半期	68.79	68.61

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	429,184	314,314	72.5
2020年3月期	450,043	310,694	68.3

（参考）自己資本 2021年3月期第2四半期 311,168百万円 2020年3月期 307,553百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	35.00	—	40.00	75.00
2021年3月期	—	40.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	45.00	85.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

※詳細については、本日（2020年11月6日）公表しました「2021年3月期 配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	560,000	△0.2	38,000	△2.4	38,500	△3.9	25,500	△1.9	201.05

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	141,000,000株	2020年3月期	141,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	14,972,612株	2020年3月期	14,164,947株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	126,559,675株	2020年3月期2Q	128,737,967株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、2020年11月16日(月)に機関投資家・アナリスト向けに決算説明の動画を配信する予定です。説明会資料は、動画配信前に当社ホームページへ掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあります。感染拡大の防止策を講じながら、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げ、一部に持ち直しの動きがみられるものの、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等に注視する必要があり、先行きについては、不透明な状況が続くと見込まれます。

コムシスグループを取り巻く事業環境におきましては、情報通信分野においては、社会全体のデジタル化に対応した高速・大容量の情報通信基盤の整備が早急に求められており、5Gサービスの基地局設置や光ファイバ網の整備などネットワークの構築・高度化が進められております。また、公共・民間分野においては、遠隔教育・医療・介護分野におけるデータ利活用・オンライン化、地方自治体間の多様なデータ連携などICT環境整備への投資拡大、激甚化・頻発化する大規模自然災害に対応した防災・減災対策、道路・橋梁など公共インフラの老朽化対策、脱炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギー政策など社会インフラ投資が期待されております。

コムシスグループといたしましては、5Gを始めとする通信インフラ整備に対応するため、施工体制を強化し、また、バーチャルカンパニーを活用したグループ全体の営業連携により、GIGAスクールなどのITソリューション分野、太陽光・バイオマスなどの再生可能エネルギー分野への営業強化・事業領域の拡大を図ってまいりました。今後、グループ全体最適に向けた構造改革をデジタルトランスフォーメーション（DX）なども活用し、加速してまいります。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、社会経済活動の低下による受注機会の減少、工事現場への一時的な立入制限や工事材料の納入遅れによる工期の延伸などが発生しましたが、協力会社を含めた従業員の健康と感染防止策に努めながら事業活動を継続し、期間後半にはその影響も減少したことから、業績は徐々に回復傾向にあります。その結果、受注高は前年の反動もあり、279,520百万円（前年同期比12.3%減）となり、売上高は234,262百万円（前年同期比3.6%減）となりました。また、損益につきましては、営業利益は12,402百万円（前年同期比4.3%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,934百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

【グループ別の受注高・売上高・セグメント利益〔営業利益〕】

（単位：百万円）

報告セグメント	受注高		売上高		セグメント利益 〔営業利益〕	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
日本コムシスグループ	135,584	△22.9%	114,460	△4.9%	6,187	△6.8%
サンワコムシスエンジニアリング グループ	26,638	15.8%	23,722	△4.7%	1,943	△11.5%
TOSYSグループ	16,597	6.5%	12,517	18.4%	335	308.3%
つうけんグループ	28,609	0.4%	20,810	△3.5%	1,354	△1.7%
NDSグループ	40,455	△7.5%	36,364	△8.3%	1,235	△26.1%
SYSKENグループ	15,703	△11.0%	12,797	△6.7%	336	217.6%
北陸電話工事グループ	8,485	16.1%	7,241	17.4%	133	171.8%
コムシス情報システムグループ	6,512	1.1%	5,412	3.3%	583	△0.1%

（注）「受注高」及び「売上高」は外部顧客への取引高を記載しております。なお、「セグメント利益」は当社及びセグメント間取引により生じた利益を含んでおります。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形・完成工事未収入金等が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ20,858百万円減少し429,184百万円、負債は、支払手形・工事未払金等が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ24,479百万円減少し114,869百万円となっております。

また、純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加及び自己株式の取得などにより前連結会計年度末に比べ3,620百万円増加し、314,314百万円となりました。

この結果、自己資本比率は72.5%（前連結会計年度末は68.3%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、2020年5月13日に発表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	35,992	48,827
受取手形・完成工事未収入金等	177,267	122,201
未成工事支出金等	26,070	41,985
その他のたな卸資産	5,787	6,578
その他	12,097	15,006
貸倒引当金	△135	△163
流動資産合計	257,080	234,436
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	42,683	42,261
土地	67,285	67,921
その他（純額）	28,644	29,877
有形固定資産合計	138,612	140,060
無形固定資産		
のれん	3,902	3,614
その他	3,940	4,001
無形固定資産合計	7,842	7,615
投資その他の資産		
投資有価証券	26,084	27,195
その他	20,774	20,246
貸倒引当金	△352	△370
投資その他の資産合計	46,507	47,071
固定資産合計	192,962	194,747
資産合計	450,043	429,184

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	80,289	60,278
短期借入金	7,038	5,720
未払法人税等	5,318	3,688
未成工事受入金	5,097	9,217
引当金	963	842
その他	19,335	13,638
流動負債合計	118,042	93,386
固定負債		
長期借入金	1,107	905
再評価に係る繰延税金負債	1,315	1,348
退職給付に係る負債	14,123	14,287
役員退職慰労引当金	587	560
その他	4,173	4,382
固定負債合計	21,307	21,483
負債合計	139,349	114,869
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	92,203	92,336
利益剰余金	241,033	245,433
自己株式	△27,125	△29,785
株主資本合計	316,111	317,983
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,264	2,878
繰延ヘッジ損益	△12	△44
土地再評価差額金	△8,028	△8,028
退職給付に係る調整累計額	△1,780	△1,620
その他の包括利益累計額合計	△8,557	△6,814
新株予約権	652	706
非支配株主持分	2,487	2,439
純資産合計	310,694	314,314
負債純資産合計	450,043	429,184

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
売上高	243,024	234,262
売上原価	212,630	205,351
売上総利益	30,393	28,910
販売費及び一般管理費	17,434	16,508
営業利益	12,959	12,402
営業外収益		
受取利息	13	11
受取配当金	429	513
固定資産賃貸料	164	148
その他	217	231
営業外収益合計	824	904
営業外費用		
支払利息	27	18
賃貸費用	92	80
新型コロナウイルス感染症関連費用	—	192
その他	31	81
営業外費用合計	152	372
経常利益	13,631	12,934
特別利益		
投資有価証券売却益	39	681
固定資産売却益	23	6
事業譲渡益	—	273
受取補償金	84	6
その他	13	72
特別利益合計	161	1,039
特別損失		
固定資産除却損	28	14
特別退職金	70	50
減損損失	—	78
その他	54	66
特別損失合計	152	209
税金等調整前四半期純利益	13,640	13,763
法人税等	4,722	4,894
四半期純利益	8,918	8,869
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	62	△64
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,855	8,934

（四半期連結包括利益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
四半期純利益	8,918	8,869
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△344	1,624
繰延ヘッジ損益	0	△32
退職給付に係る調整額	△31	160
その他の包括利益合計	△375	1,752
四半期包括利益	8,542	10,621
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,478	10,676
非支配株主に係る四半期包括利益	64	△54

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結会計期間末における自己株式の残高は、前連結会計年度末より2,660百万円増加し、29,785百万円となっております。これらの主な要因は、以下のとおりであります。

自己株式の取得

当社は2020年5月13日開催の取締役会の決議に基づき、2020年5月14日から2020年9月30日までの期間に自己株式981千株を取得しております。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が2,999百万円増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算定しております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2020年11月6日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得に係る事項について決議いたしました。

(1) 取得を行う理由

株主への一層の利益還元と企業環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため、自己株式の取得を行うものであります。

(2) 取得に係る事項の内容

① 取得対象株式の種類	当社普通株式
② 取得し得る株式の総数	200万株（上限）
③ 取得価額の総額	40億円（上限）
④ 取得期間	2020年11月9日から2021年3月31日まで
⑤ 取得の方法	東京証券取引所における市場買付